

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年4月15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4679500126
法人名	インターナショナル・ホスピタル・サービス株式会社
事業所名	グループホーム 岬
所在地	鹿児島県大島郡知名町田皆2242番地 (電話) 0997-93-1502
自己評価作成日	平成25年2月26日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成25年3月19日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

①県道から少し中に入り、静かな住宅街の中にホームはあります。一步外に出ると地域の皆さんや子供達と声を掛け合うことができる環境に施設はあります。その環境を活かして地域に溶け込んで暮らす事を目的に開設当初から近くのゴミステーションの掃除を利用者と職員の日課として取り組んでいます。今では地域の方々や子ども達とも顔見知りになり、気軽にホームに立ち寄ってくれる関係が構築できています。②岬の自慢は安全な散歩コースがあることです。車の通りも少なく静かな緑の中を通り抜けると溜池があり、溜池の周りには季節の草花が咲き乱れていて、季節を感じる事ができます。また地域のお年寄りの方の集まる場所となっているので、声を掛け合い、お話しを楽しむこともできます。③ホームの近くには郵便局・公民館・ふれあい館・保育所・雑貨店・駐在所等・字の中核機能が集まっている便利な環境に恵まれています。④H24年10月から統一したケアを目標に掲げ、朝礼・申し送り後に、利用者も交えお茶を飲みながら、気楽に話せる統一ケアの為に10分間を設けて取り組んでいます。一日の業務のポイントを再度押さえて貰い、解らない事は気楽に聞ける場として活用しています。統一したケアの必要性は、利用者が日々同じケアが受けられ不安なく穏やかな暮らしができる事を目的に事業所として特に力を入れて取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・ホームは、地域住民が何でも相談できる場としての役割を担って、地域との繋がりを大切にしている。
- ・近くのゴミステーションの掃除を、利用者と職員で行ったり、地域の子供たちが遊びにきたり、友人等が気軽に立ち寄るなど、地域に根ざしたホームである。
- ・終末ケアは、医療機関と関係のもと、家族と全職員が情報を共有して取り組んでいる。
- ・利用者や職員全員がウイルスガードを携帯し、感染症対策に積極的な取り組みをしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を事業所内に掲示し、朝礼後に理念を唱和することにより、理念に触れ職員間で共有し、実践に繋げています。また、ことある毎に理念に結びつけて話し合い取り組んでいます。	ホームの理念を毎日朝礼時に唱和し、理念に基づいた実践に繋げるため、話し合いをしている。理念は現状に合わせて少しずつ作り変えている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ご利用者と職員で、近くのゴミステーションの掃除を日課とし、日常的に地域の方との交流ができる様に努めています。馴染みの関係が築かれる様に、天気のいい日は散歩を日課とし出掛け事業所側から声掛けを心掛けています。	地域住民からの薬の相談や認知症に関する勉強会を開催する等、対応している。近所の住民からの野菜や花などの差し入れもある。利用者と職員が、毎日近所のゴミステーションの掃除をして、地域とのかかわりを大切にしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の会合に参加し、関わりながら認知症予防や認知症の方との関わり方等々のミニ勉強会を行っています。地域の方からの認知症の相談も受け実践を通しての経験等助言を行っています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では事業所の報告と共に参加者メンバーからの意見や要望を受け、話し合いの場となる様に配慮しています。地域の方の理解と支援が得られる様に運営推進会議を活用しています。	運営推進会議は、2ヶ月ごとに実施している。ホームの状況を報告したり、外部評価の結果報告や自己評価も報告している。参加者からボランティアの申し出や気がねない意見等が出て、日頃のケアに活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	町の保健福祉課の担当者へホーム便りや情報を提供をし、解らないことは、教えて貰い、また資料を頂き、メールでやり取りをしたり、協力関係を築きサービスの質の確保に努めています。	行政の担当者には、事業所便りを届けたり、事業所の情報などを報告し、指導や助言を受けている。行政からの情報や連絡をもらう等、協力関係が保たれている。メールで交信もしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	グループホーム協議会の研修会や島内で講師を招いての勉強会に参加したり、またホーム独自の勉強会で理解を浸透させ身体拘束はしない様に取り組んでいます。	外部の身体拘束廃止の研修会に職員が参加し、伝達研修を実施している。事業所で身体拘束廃止の担当者を決め、身体拘束をしないケアの勉強会を、1年に1回、実施している。玄関の施錠は日中はせずに、職員の見守りで安全な暮らしを支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	支援する時の言葉使いや態度による虐待（自尊心を傷つける）等が、見受けられた時は、その都度、話し合っています。また島内の勉強会に参加したり、ホーム独自の勉強会で理解を浸透させる様に取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>地域権利擁護事業や成年後見制度について研修で学びました。必要と思われる利用者がいたら活用できる様に支援して行きたいと思います。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>時間を取って丁寧に説明しています。特に利用料・重度化・看取りについて話し合い、医療連携体制等については詳しく説明し同意を得る様にしています。ケアに対する事業所の取り組み等も話し理解して貰い、不安や疑問点を聞き、納得して契約へ結んでいます。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族は意見や不満を言い出すのが難しいことを理解し、第三者委員に話す様に声掛けを行っています。職員は気軽に話して貰える様な雰囲気作りに努め、聞き出す様に努めています。出された意見や要望は職員会議や申し送り後に話し合いを持ち反映する様に努めています。</p>	<p>利用者からは、生活の中で、思いや希望を聞いている。家族からは、声かけの工夫などで意見が言いやすい環境や雰囲気作りをして、意見や要望を聞き、利用者の暮らしに反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	申し送り後、気軽に話せるお茶タイムを設け、職員の意見や提案を聞き、反映する様に努めています。	管理者は、職員に業務に関する意見などを、申し送り後のお茶タイムで気軽に話せるようにしている。また、職員の提案で利用者の買い物日を決めるなど、意見を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	働きやすい職場環境にするために、職員の要望を聞き、職員と話し合いながら対応しています。勤務作成も希望を取り入れ対応しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人は働きながら学ぶことの必要性を理解し、実務に支障をきたさない限り研修の機会を与えてくれます。事業所外で開催される研修にはなるべく多くの職員が受講できる様にしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	島内・島外の同系列業者との交流もあり、事例を通して経験や助言を貰い参考にし、日々のケアに活かしています。島内のグループホーム交換研修の場もありサービスの質の向上に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談を行い、本人にお会いし心身の状態や生活状況を把握し、職員間で共通理解して、受け入れる様にしています。不安や要望を聞き信頼関係をつくり安心して利用できる様に努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	これまでの経緯について聞き、ご家族が求めているものを理解しホームとして、どの様な対応ができるのか事前に話し合い、家族の不安を取り除く様に努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご利用開始時に、ご本人・ご家族の思い聞き、必要としている支援を見極め、支援の提案、相談をしながら必要なサービスに繋げる様にしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者様の生活歴を把握した上で、その人がその人らしく生活できる様に心がけ、支援する側、支援される側という意識を持たずに、お互いが共に生活する者同士、穏やかに過ごせる様に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族にホームでの様子を伝え、ご利用者の日々の暮らしの中でも、ご家族の事を話し絆が保てる様に心掛け支援しています。ご家族にご協力を貰う為に、ご家族と連絡を取り、いい関係を保てる様に努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔から利用している雑貨店を希望される利用者は連れて行き、これまでの関係を継続できる様に支援しています。定期的にお家を見に行ったり、お墓参りに出掛けたりする中で、馴染みの方々と会える機会を支援しています。	行きつけの店や墓参りに行ったり、身内の家や自宅などに、受診の際に寄る等している。馴染みの友人が訪ねてくるなど、馴染みの人との交流が継続できるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立させない様に話を聞き、相談に乗ったり、皆で楽しく過ごす時間や気の合う人同士で過ごせる場面づくりをするなど、また利用者同士の関係が上手くいく様に職員が調整役となって支援しています。共同作業を通して利用者同士の関係が円滑になる様な働きかけもしています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	岬でお亡くなりになった、ご家族は全てのご家族が、時折訪ねてきます。季節の野菜を沢山ホームの為に持ってきてくれます。都会から帰島される際は必ず立ち寄ってくださいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者が誰と、どの様な生活を望まれているのか、言葉や表情から真意を察する様に努めています。また日々の関わりの中で言葉掛けを行い察し、本人本位の意向に努めています。	日々の生活の中で、利用者の思いや意向を把握し、言葉かけや家族からの情報などで把握できた事は、気づきノートに記録して、職員間で共有し、本人の意向を中心に、ケアに活かすようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人が安心して暮らしていける様に生活歴を把握し、家族に聞き、これまでの暮らしの延長線上にグループホームの暮らしがあると考えて、支援しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の望む一日が過ごせる様に心身の状態も把握しながら、できないことよりも、できることに目を向け個々の力に合わせた生活リハを行い、メリハリのある望む暮らしを心がけています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者が適切なサービスを受けられる様に、日頃の関わりの中で思いや希望を聞き、本人の望む暮らしを提供できる様に、またご家族の希望も取り入れ支援できる様に職員との意見交換しサービス計画に活かしています。	本人や家族と話し合い、担当職員が本人の意向にそって介護計画を作成している。状況が変化した時は、その都度、変更や見直しをしている。また、モニタリングは、6ヶ月ごとに実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別にファイルを用意し、食事・水分量・排泄など身体状況及び日々の暮らしを記録しています。いつでも全職員がご利用者様の体調を把握できる様になっています。勤務開始前には記録に目を通し業務に入って貰っています。職員間の情報共有する様に努めています。昼夜色分けして見やすく工夫もしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご家族が忙し時は、病院受診や外出、外泊の際は、お家まで送迎したり柔軟に対応しています。ご利用者を連れて行き面会の支援もしています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>ご利用者が安心して地域での暮らしを楽しんで暮し続けられる様に、地域の役員や民生員、駐在所の方と連携を心掛け、地域の皆さんへのボランティア協力も呼びかけて貰い、散歩支援等をして貰い豊かな暮らしで繋げる様に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご利用者、ご家族が希望する、かかりつけ医へ受診しています。ご家族と一緒に通院介助もしています。毎月1回は同系列病院から訪問診療があります。体調の悪く通院できない利用者がある時は同系列医師訪問診療で対応して貰っています。	今迄のかかりつけ医の受診を支援している。月1回は、協力医療機関からの訪問診療もあり、通院の結果については、家族へ報告している。適切な医療を受けられるようにしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護との契約に基づき、日常の健康管理や医療面での相談・助言・対応を行っています。気軽に相談できる関係ができていて医療機関との連携も密にとれる体制が確保されています。看取りケアも全面的に協力して貰いながら支援しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院によるダメージを極力防ぐために医師と話をする機会を持ちホームで対応可能な段階で早く退院できるように家族とも情報交換しながら速やかな退院支援に結びつけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>岬で終末期を希望するご家族には、心の変化はないか？事あるごとに確認しながら医師と連携を取り、ご家族の納得した最期が迎えられる様に支援しています。急変した場合は直ぐ対応して頂ける様に、医療機関と連携を図り ご家族へ連絡を常に取り、また終期ケアにあたるスタッフへの理解も重要視して取り組んでいます。</p>	<p>本人や家族の意向により、終末ケアを受け入れている。医療関係者との連携を図り、家族と一緒に職員が方針を共有し、協力しながら最期が迎えられる支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>同系列の病院の勉強会へ参加したり、島内の研修会、またホーム独自の勉強会で急変や事故に備えて定期的に勉強会を行っています。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>マニュアルを作成し、年2回の利用者と共に避難訓練を行っています。隣近所の方にも参加してもらい、今年も2月22日に行いました。火災通報機・自動火災報知機・スプリンクラーを設置しました。</p>	<p>火災や地震・水害等の避難訓練を、年2回、昼夜間想定を含めて実施している。家族や地域住民も参加している。漏電や消火器の点検を定期的の実施したり、自動火災報知器やスプリンクラーの設備をしている。災害用の水や食料を備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーを損なわない様に研修会に参加し勉強したり、ミーティングの際に意識向上を図るとともに、日々の関わり方の対応の徹底を図っています。入職時にはプライバシー保護について誓約しています。	利用者の尊厳やプライバシー保持についての、研修会の参加や勉強会を実施し、人格の尊重とプライバシーを損なわないように、特にトイレ誘導など、言葉使いや態度に、配慮するように努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ホームのおおよその流れはありますが、利用者の希望に沿って起床や就寝・食事や入浴を個別支援しています。意思表示が困難な方には表情を読み取ったり、文字盤を使ったり本人が決める様に支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ひとり一人の体調に配慮しながら、その日その時の利用者本人の気持ちを尊重して、できるだけ個別に対応しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	個々の希望を取り入れ馴染みの床屋さんへ連れて行ったりして希望にあわせたカットをして貰っています。本人の希望の服を着ける様に入浴準備も更衣の際も聞きながら支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューは利用者の食べたい物を聞き、また冷蔵庫の食材を利用者に説明してメニューに決めています。職員と利用者が同じテーブルを囲んで楽しく食事ができる様に雰囲気づくりも大切にしています。	職員と一緒に食材の買い物に出かけたり、ホーム菜園の収穫を楽しんだりしている。献立は、利用者の食べたい物を聞いて決めている。利用者は、職員と一緒に野菜の下ごしらえをしたり、茶碗拭きをしている。食事前の口腔体操で歌を歌い、楽しく食事ができるようにしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	買い物の係は、ひとり一人の嗜好物を把握し、それを楽しめる様買い出しに出掛けています。買い物の帰りを楽しめるように支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後歯磨きの声掛けを行い、本人の力に応じて職員が見守ったり介助を行っています。義歯の洗浄も行っています。口腔ケアの重要性を利用者と職員が理解し習慣化されています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ご本人がトイレへ行きたい時に行ける様に行動で見分けたり、また訴えに耳を傾けて支援をしています。また職員が排泄パターンを把握して、声掛けを行い誘導しています。	トイレでの排泄の自立に向けて、各自の排泄パターンを把握し、個々の利用者に合わせ、タイミングを見ながら、トイレ誘導を行っている。清潔保持と床ずれ予防にも努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	植物繊維の多い食材を使う様に心掛け毎日牛乳を摂取して貰っています。散歩や各活動に参加し、体を動かし水分も多めに飲んで貰える様に工夫し自然排便できるように取り組んでいます。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は決めています。ご利用者の、その日の体調や気分を確認しながら支援しています。入浴を拒む方に対しては、言葉掛けや時間の工夫を行いながら対応を柔軟にしています。	入浴日は決めているが、本人の意向で柔軟に支援している。入浴をいやがる利用者には、時間をおいて声かけしたり、工夫して対応している。浴槽には、保湿剤の入浴剤などを使用している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動を促し、生活リズムを整える様にしています。寝たくない時は、添い寝をしたり、行動を共に行ったり、飲み物を飲みながら話を聞き安心できる様に支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的や副作用、用法や用量についてファイルに綴り何時でも確認できる様にしています。服薬は服用を確認した症状の変化にも注意しながら、変化の際は管理者へ報告し指示を貰い支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>一人ひとりの力を発揮して貰える様に、その方を見極めた上で役割を与えています。楽しみも利用者と相談しながら遠出のドライブ・散歩を楽しんだり買い物に出掛けたり気分転換を図っています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>日常的に散歩に出掛けたり、全員で散歩に出掛けたい時は地域の方の協力を貰い支援しています。ドライブにもよく出掛け、外の風景を見ながら、車中でおやつを食べるのが楽しみと話される利用者もいます。</p>	<p>日常的には、役場や買物と一緒に出かけたり、近隣を散歩している。年に2~3回、ドライブをして、そこで食事会を行い、外出が楽しめるように支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人管理できる少金額で外出時などジュースやパンを自分で財布からお金を出して買える様に支援しています。自動販売機がホーム内にあるので飲みたい時にお金と相談しながら買われています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族や知人などに手紙や電話を気軽に掛けれる様に支援しています。便箋・封筒・ペンを準備して声掛けを行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が多くの時間を過ごす共用空間を居心地がよい様に、また活動がしやすくなるように考え、ソファを置いたりして工夫しています。壁には毎月季節感を感じて貰うために利用者と職員で壁画を作り飾っています。	ホームの壁には、季節の行事に合わせた飾りつけがされ、行事ごとの写真が掲示されている。地域からの差し入れの花が飾っており、玄関近くの畳の間では、子供たちが勉強したり、利用者の語らいの場として活用し、居心地のよい共用空間である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共同空間の中に小さなテーブルを置いたり居心地よい空間を作っています。仲の良い利用者同士でくつろげるスペースも設けています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	写真や使い慣れたタンス等を持って来て貰っています。利用者が持ち込みたい物は全て受け入れ利用者が居心地良い様に支援しています。	個々の居室には、本人が使い慣れたタンスや好みの家具が持ち込まれ、仏壇の水をかえたり、花を飾ったり、思い出の写真などがある。安心して居心地よく過ごせる様、工夫してある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの持っている力を見極め、それぞれのご利用者の〔できる事・不安〕を職員間で話し合いながら、自立に繋げる様に努めています。また不安を与えない様に徐々に自立できる様に努めています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない